

平成 31 年度 港まちづくり協議会事業計画

○：心地よく安心な港まちで暮らす

○ー(1) 楽しく学び実践するみなとまち BOSAI

■ねらい	○津波・液状化対策や観光客への対応など、港まちならではの課題に挑戦する防災・減災の取り組みを推進する。 ○港まちを中心としたエリアにおける AED の活用を促進する。
■概要	○学区連絡協議会・小学校などの教育機関・地元企業・行政等と協働した防災・減災の取り組みを実施し、他の地域へのモデルとしても発信していく。 ○町内会単位で防災・減災勉強会等を実施し、活動の担い手の発掘・育成を行う。 ○AED の設置個所を明記した既存マップを活用し、緊急時に誰もが AED を有効に活用できるようにサポートする。 ○学区連絡協議会や企業、教育機関等と協働し、AED の使い方講習会を実施する。

○ー(2) 暮らしの豊かさを育むコミュニティ活動

■ねらい	○港まちの日常を豊かにするコミュニティ活動と協働を図り、より多くの人々が関われる事業を展開していく。
■概要	○平成 30 年度の成果を引き継ぎつつ、子育て、コミュニティガーデンづくりをテーマとした活動を支援する。また地域のニーズに即した事業を検討・展開し、住民の方々が楽しく交流できる場づくりを行うこととする。

○ー(3) 港まちならではの空間の有効活用

■ねらい	○各所に港まち文庫を設置し、より多くの人々がお気に入りのスポットで読書を楽しめるようにして、広く生涯教育に貢献する。 ○旧防潮壁を活用した壁画制作を実施し、地域の中に思い出と愛着を育む。
■概要	○西築地小学校・西築地小学校トワイライトスクール、東港中学校、港まちポットラックビル等の港まち文庫の利活用を促進する。 ○アーティストと連携し、西築地小学校の児童の卒業制作として旧防潮壁に壁画を描く。

△：魅力的でにぎやかな港まちに集う

△- (1) 地域の特色を活かしたにぎわいづくり

<p>■ねらい</p>	<p>○夏の恒例イベントとして開催されてきた「地藏盆まつり」と連携し、港まちならではの魅力・にぎわいづくりに貢献する。 ○商店街恒例のセーラースフェスティバルと連携して、新たなにぎわいを創出する。 ○港まちの特色を活かしたミニツアーを実施し、まちのファンづくりを目指す。</p>
<p>■概要</p>	<p>○夏の港まちのお祭りムードを締めくくる盆踊りイベントとして、各種の団体・NPO・事業者等との交流も促進し、老若男女が楽しめるコンテンツにする。 ○H30 年度に開催した「ポットラックバザール」を踏まえ、商店街を舞台に、学区連協を始めとした各種の主体との連携を図り、音楽パフォーマンスやマーケットを中心とした新しいにぎわいをつくる。 ○みなと A GOGO!のコンテンツを活用し、より多くの方々に楽しんでいただける着地型観光のイベントを実施する。</p>

△- (2) アート&音楽を活用したまちづくり

<p>■ねらい</p>	<p>○アート&音楽を活用し、芸術文化の力を取り入れたまちづくりの推進を目指す。</p>
<p>■概要</p>	<p>○ポットラックビル3階やボタンギャラリー2（仮）等を活用し、アーティストを港まちに招聘するプログラムを実施する。展示はもとより、ワークショップ等の交流イベントを積極的に開催し、地域の方々が楽しみながら、芸術文化に関わる機会をつくる。 ○地域の中の様々なイベントと連動し、地域の方々が、アート&音楽に触れる機会を増やす。</p>

△- (3) ガーデンふ頭と連携したエリア帯のにぎわいづくり

<p>■ねらい</p>	<p>○海に見える港まちの象徴としてのガーデンふ頭を活かし、関連する施設等とも積極的な連携を図りながら、港まちエリア帯のにぎわいづくりを目指す。</p>
<p>■概要</p>	<p>○伊勢湾台風 60 年事業として、地域の中に残る伊勢湾台風の様々な記憶や記録を活用した地域再発見事業を検討する。また海洋博物館等の協働も検討する。</p>

□：みんなと港まちを創る

□ー(1) 港まちの内外の人々をつなぐ情報発信

■ねらい	○港まちづくり協議会が主催する事業に関する情報や西築地学区を中心とした港まち界隈の地域情報を発信する。
■概要	○ポットラック新聞・かわら版を活用し港まちづくり協議会の主催事業等を効果的に発信すると同時に、港まちの地域資源に注目し、固有の施設や行事、または人物の関連情報等を効果的に発信する。また、その制作にあたっては、地域住民の皆さんに、取材対応や情報提供をいただき、編集・デザイン・出版のプロなどと相談しながら事業を推進する。 ○また、港まちづくり協議会で検討された事柄や実施する事業について、地域住民の皆さんをはじめ広く一般に知らせるために、協議会ニュースの発行、年次報告書の作成、ホームページ運営などを実施する。

□ー(2) 港まちに呼び込む新たな風

■ねらい	○港まちづくり協議会の活動に、新たな風を呼び込む機会として提案公募型事業を実施する。 ○既存の空き店舗等を活用するために、事業に挑戦する事業者を募集し、その挑戦を側方支援する。
■概要	○提案公募型事業への応募者向けに相談窓口を常設し、事業申請をサポートする。また、募集時期を2期に分け、参加の機会を広く儲ける。またさらに、事業を実施することになった団体については、事業が効果的に実施できるように広報などのサポートを行う。 ○空き店舗対策事業として、使用可能な空き店舗を特定し、事業者を募集する。また、事業者を支援する人材を交えた支援会議を定期的に関催し、事業者が地域に溶け込みながら、活性化に寄与するようにサポートする。

□ー(3) 人づくりを軸にした協働まちづくり

■ねらい	○港まちポットラックビルを地域内外の人々の交流拠点として位置付け、地域の方々に親しまれ、港まちを訪れる方々にとっても立ち寄りやすい場として運営していく。
■概要	○港まちポットラックビル入り口的美装化を図り、地域の人々をはじめ、多くの人々に親しまれる拠点としていく。 ○港まちポットラックビル1階のラウンジスペースを活用し、港まちの店舗やイベント情報を来場者に紹介する。また、会議やトーク、ワークショップ等を開催し、地域の方々と意見交換を行う機会とする。 ○港まちポットラックビル2階の多目的スペースを、港まちの歴史や人々の記憶をテーマにした展示やコミュニティ活動の実施会場などに活用し、地域内外の人々の交流を促進する。

○△□：その他

(1) 事務局運営経費

■ねらい	○協議会の事務局運営に必要な経費
■概要	○事務所の借上げ費、複合機等のリース料、事務局職員の人件費、税理士の顧問報奨費、電気、上・下水道使用料など。